

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100093
事業所名	認知症高齢者グループホームちくさ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会、老人会に入会している。小学校での敬老会や盆踊り等地域の行事に参加し、交流している。地域の行事推進委員や町内会で情報を得て地域に密着した交流に繋げている。また、消防署との連携もよく、折に触れ消防署員が施設に立ち寄り情報提供の協力が得られている。回覧板で地域住民に施設行事参加の呼びかけや施設の存在が地域に周知されるよう努力を続けている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年6回開催している。毎回ではないが、いきいき支援センター職員の参加協力を得て、家族、消防署員、施設職員などの参加で会議を開催している。現状報告と共に情報交換を行い、話し合った結果を支援に活かしている。家族参加が多く意見を聞く機会ともなっておりケアへの反映に繋がっている。	○
重点項目③		評価
	区役所やいきいき支援センターには、介護保険についてや不明な事の相談等を行って協力体制を築くようにしている。市の「徘徊おかえり支援サポーター」に登録、支援体制を築いている。職員は認知症実践者研修ほか、市や区が主催する研修会や勉強会に参加している。	○
重点項目④		評価
	利用者や家族とは面談を行ったり、面会時等また、管理者携帯電話で苦情や要望を聞き柔軟に対応している。年1回だが家族会も開催している。家族へ毎月、「ちくさ新聞」や「手紙」で利用者一人ひとりの近況を知らせている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価				×	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。